

新冠ポロシリ山荘とトイレの調査票 (1/2)

山のトイレを考える会：2023.8.1

調査年月日：2023.6.24～25

調査員：城石謹爾

2023.7.29

調査員：小枝正人・仲俣善雄

調査区分 (右の□にチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 山小屋	<input checked="" type="checkbox"/> 別棟トイレ	<input type="checkbox"/> 携帯トイレ設備
-----------------	---	---	----------------------------------

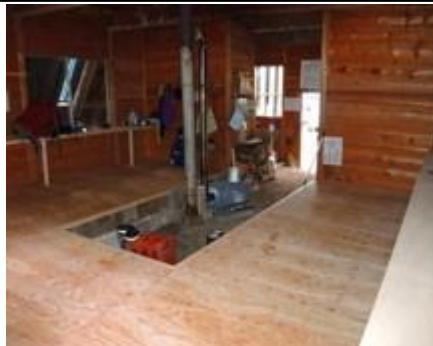
<input type="checkbox"/> 小屋名：新冠ポロシリ山荘	<input type="checkbox"/> 所有者と担当：新冠ポロシリ山岳会			
<input type="checkbox"/> 連絡先 https://poroshiri.info	<input type="checkbox"/> 実際の維持管理：新冠ポロシリ山岳会 (月1回程度)			
<input type="checkbox"/> 定員 (※1)	<input type="checkbox"/> 何階建か：2階	<input type="checkbox"/> ストーブ：あり (燃料：薪)	<input type="checkbox"/> 水：あり	<input type="checkbox"/> 協力金(一泊)：1000円
<input type="checkbox"/> 建物の傷み具合 (ドア・外壁・屋内・屋根等) その他特記事項 (具体的に)				
<ul style="list-style-type: none"> ・小屋そのものは清潔が保たれているが、経年劣化により全体が傾いてきている。 ・上水は沢より山荘内の流し台までパイプで導水しているが、時々流れが悪くなる事がある(※2)。 				

別棟プレハブトイレ	<input type="checkbox"/> 形態：別棟プレハブトイレ	<input type="checkbox"/> 方式：貯留 (汲み取り) 簡易水洗方式 (※3)
	<input type="checkbox"/> 男性小便器：あり (1個)	<input type="checkbox"/> 男女共用：(和式1穴)
	<input type="checkbox"/> トイレtpーパー：あり	<input type="checkbox"/> 和式の場合の手すり：なし
	<input type="checkbox"/> トイレの清潔度：きれい (清掃用具、洗浄剤、芳香剤、アルコールの他、便槽には微生物粉末剤を投入)	
	<input type="checkbox"/> 臭い：殆どしない	<input type="checkbox"/> 換気扇：あり (※4) 角型開閉式通気口 (小便器側…上下計2箇所、和式個室…上部1箇所)

別棟仮設トイレ	<input type="checkbox"/> 形態：仮設トイレ	<input type="checkbox"/> 方式：貯留 (汲み取り) 簡易水洗方式	
	<input type="checkbox"/> 男性小便器：なし	<input type="checkbox"/> 男女共用：(和式1穴)	<input type="checkbox"/> 和式の場合の手すり：なし
	<input type="checkbox"/> トイレtpーパー：あり (ティッシュtpーパー、生理用品の汚物は便槽に捨てない。室内の汚物回収箱に入れる)		
	<input type="checkbox"/> トイレの清潔度：きれい (清掃用具、洗浄剤、芳香剤、アルコールの他、便槽には微生物粉末剤を投入)		
	<input type="checkbox"/> 臭い：殆どしない	<input type="checkbox"/> 換気扇：あり (※5) 上部に角型ガラリ	



新冠ポロシリ山荘とプレハブトイレ、仮設トイレはプレハブの裏に隣接。手前は汚物集積箱



山荘1階内部
薪ストーブと玄関流し台は玄関の左側に位置する



流し台
水は沢水を導水



山荘2階内部
中央部にストーブ煙突が伸びる



仮設トイレ正面



仮設トイレ内部
簡易水洗



プレハブトイレ裏側とバキューム装置による汲み取り作業の様子



プレハブトイレ内部 (小便器)
排尿後は右下のペダルを踏むと水が流れる



プレハブトイレ内部 (和式側)
排泄後は右上の凸部を踏むと水が流れる

関係者からヒヤリング記載欄 (年月日・相手・内容) ・その他特記

【令和5年6月24～25日 新冠ポロシリ山岳会事務局からの聴き取り】

- ・幌尻岳の山行では携帯トイレの使用を推奨している。携帯トイレは自分で持ち帰る。
- ・(株)CITIC (シティック 静内衛生社) が北海道大学と共同開発した、微生物製品「イグアスEX」を便槽に投入している。これにより糞尿を発酵分解させ、悪臭の防止と糞尿の減量化に大なる効果を発揮させている。トイレットtpーパーまでドロドロに分解させる働きがある為、本剤導入によりバキューム作業がスムーズに行えるようになったとの事。この他、便器洗浄剤や芳香剤、アルコール洗浄・噴霧により臭いの元となる細菌が殆ど死滅する為、不快臭はしない。
- ・山岳会でエンジン付きバキューム装置 (長野県のメーカー「デリカ製」。亜鉛メッキタンク容量550ℓ) を導入。本装置はトラックに積載して運用、汲み取りは年に3回実施している。
- ・過去2年間は正しくトイレが使用されていたが、それ以前にパンティーライナーが投棄され、バキューム装置が詰まった事があった。

新冠ポロシリ山荘とトイレの調査票（2/2）

調査年月日：2023.6.24～25 調査員：城石謹爾
2023.7.29 調査員：小枝正人・仲俣善雄

【令和5年6月24～25日 新冠ポロシリ山岳会事務局からの聴き取り】（続き）

- ・新冠ポロシリ山荘の利用者は年間1,000～1,200名前後との事である（2023年は1100名。延べ2280名）。1名1泊につき維持管理協力金1,000円。を玄関横の協力金ボックスへ投函、または指定金融機関へ 振込でお願いしている。
- ・山荘での取り組み工夫のひとつとして、利用者に快適に過ごしてもらうべく「アブキャップ」を設置している。
- ・夜間照明については、山荘内はポータブル電源及び内燃式発電機、山荘玄関灯とプレハブ及び簡易トイレ内外は太陽光発電式の人感センサー付きライトを使用。



←アブキャップ
(アブ捕獲器)
温度の高いところへ近づくとアブの習性を利用して。太陽光で暖められた黒色の球体に引き寄せられたアブは、上部の傘の上にある筒に入り込む事で二度と出られず、駆除されるしくみとなっている。

□前ページの注意事項（※印）

- ※1 事前にメールにて申請書と利用届をあらかじめ提出してもらい、人数調整を実施している。
- ※2 6月24日、流し台からの水勢が衰えていた為、翌25日に取水源とパイプ内の清掃を実施、詰まりを改善している(画像参照)。



維持管理協力金ボックス



取水源



取水源から山荘へ伸びるパイプ



流し台 吐水口

- ※3 簡易水洗用の水はポリタンクを用いて沢にて取水し人力で汲み上げ、プレハブ及び簡易トイレ双方の水タンクへ給水。



簡易水洗用 水タンク給水口
(プレハブトイレ側)



簡易水洗用の水は、ポリタンクを用いて人力で汲み上げている



プレハブ及び簡易両トイレ裏側
糞尿と洗浄水は各トイレ真下の便槽に沈殿・貯留される (黄矢印)



便槽で固液分離され、汚水は綠色ホースで右側黒色の貯留タンクへ流れるしくみ

- ※4、5 プレハブ及び簡易トイレの換気口。



プレハブトイレ 開閉式換気口
(右上) 照明は太陽光発電式



プレハブトイレ外観 角型ガラリ換気口は各上下に位置 (青矢印)



仮設トイレ 角型ガラリ換気口
(正面上部) 照明は太陽光発電式



貯留タンク近影 (容量1100ℓ)

□その他 特記事項

- ・6/24 同山岳会主催の新冠陽希コース安全確保作業として、コース整備班は新冠ポロシリ山荘～幌尻沢間及び幌尻沢渡渉点兩岸の笹刈り、山荘周囲の草刈りを実施。また幌尻沢において流木を活用した丸太橋の架設、マーキングを施行。一方のコース調査班は幌尻沢～幌尻岳山頂間のコース調査及び雪渓部に道迷い防止の誘導標を設置している。
- ・この度の安全確保作業では、陽希コース全てにおいて登山者による排泄跡は確認されなかった。